

2016年9月6日

AGC旭硝子、ドイツの大手バイオ医薬品製造受託会社を買収

AGC旭硝子（旭硝子株式会社、本社：東京、社長：島村琢哉）は、本年8月、欧州のバイオ医薬品製造受託業(CMO)大手であるBiomeva GmbH社（以下Biomeva社）の全株式を、Biomeva Holding GmbH社より取得し、当社の子会社としましたのでお知らせいたします。Biomeva社の買収により、当社はライフサイエンス事業の事業地域を拡大すると共に、提供サービスの拡充を進めます。

欧州におけるバイオ医薬品開発の先端都市である、ドイツ・ハイデルベルグに拠点を置くBiomeva社は、1993年より、微生物発現系を用いたバイオ医薬品の開発・製造受託サービスを欧州及び他地域のユーザーに提供してきました。タンパク質医薬の高効率発現のためのプロセス開発、cGMPによる培養、精製及びバルク充填に加え、分析試験、セルバンク構築などを主なサービスとしています。

AGC旭硝子の大量生産能力とBiomeva社の開発技術を融合することで、プロセス開発から商業生産向け原薬供給まで幅広いサービスを提供する、新たなグローバル・バイオ CMO が誕生します。当社の商業生産実績とBiomeva社の臨床向け開発実績から、大きなシナジーが生み出されると期待しています。

AGCグループは、経営方針 *AGC plus* の中で、ライフサイエンス事業を戦略事業のひとつと位置付けています。今般の事業統合で生まれるグループ内でのシナジーを生かし、バイオ医薬品受託事業を加速的に拡大して参ります。

以上

■ Biomeva 社の概要

| | |
|------|---------------------------------------|
| 社名 | Biomeva GmbH（バイオミーバ有限会社） |
| 代表 | Dr. Thomas Pultar（トーマス・プルター） |
| 所在地 | ハイデルベルグ（ドイツ） |
| 持分比率 | AGC旭硝子 100% |
| 設立 | 1983年 |
| 事業内容 | 微生物を用いた、生物製剤原薬及び医療向けタンパク質の開発・製造受託サービス |

CMO：Contract Manufacturing Organization（医薬品製造受託機関）

cGMP：current Good Manufacturing Practice（現行医薬品適正製造基準）。米国食品医薬局（FDA）が定める医薬品等の製造管理及び品質管理に関する基準。

◎本件に関するお問い合わせ先：

AGC旭硝子 経営企画部 広報・IR 室長 小林 純一

（担当：駒崎 TEL: 03-3218-5603 E-mail: info-pr@agc.com）